

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 教育施設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせる。学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,014,000	1,052,856	1,134,433	1,426,905	1,630,497
決算	1,008,110	1,045,778	1,118,854	1,401,852	
人件費(A)	3,500	5,600	5,600	7,700	7,700
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,011,610	1,051,378	1,124,454	1,409,552	1,638,197

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人)	人	3.6	目標	8.6	8.02	5.48	4	
			実績	8.75	8.01	7.92	7.12	
ICT支援員活用校率(%)	%	100	目標					13
			実績					
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせる。学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

学校管理運営システム(グループウェア、支出管理、備品管理、図書管理)を活用した事務処理を行い、教職員の利用時の運用支援を行うとともに、浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校及び幼稚園のインターネット環境を常に正常な状態に保った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校情報技術環境整備事業		○	○		1,638,197	1,630,497	1.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,638,197	1,630,497	1.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

### ◇事業目的・事業対象

教育委員会と市立小中学校を結んだ浜松市教育ネットワークを利用し、学校管理運営システムの運用による事務の効率化を図り、ネットワーク環境を維持するために、浜松市教育ネットワークセンター及び通信回線の保守・管理を行う。また小中学校の教育情報機器等の整備を行う。

### ◇事業の概要

【H27-30重点戦略項目No.36】【R1-R4重点戦略項目No.78】

- ・学校管理運営システムの運用  
学校管理運営システム(グループウェア、支出管理、備品管理)を活用し、事務処理の効率化を図るとともに、利用時の運用支援を行う。
- ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用  
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
- ・教育情報機器等の維持管理  
学校教育に必要なパソコン等情報機器の保守や更新を行う。
- ・ICT環境整備  
第3次浜松市教育総合計画～教育の情報化編～に基づき、ICT環境の検証や整備方針を検討する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,014,000	1,052,856	1,134,433	1,426,905	1,630,497
	決算	1,008,110	1,045,778	1,118,854	1,401,852	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	1,008,110	1,045,778	1,118,854	1,401,852	1,630,497
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	5,600	5,600	7,700	7,700
人工	正規	0.5	0.8	0.8	1.1	1.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人)					-		36	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	8.6	8.02	5.48	4				
実績値	8.75	8.01	7.92	7.12				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
ICT支援員活用校率(%)							78	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					13	100	100	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・学校管理運営システムの運用  
学校管理運営システム(グループウェア、支出管理、備品管理)を活用し、事務処理の効率化を図るとともに、利用時の運用支援を行う。
  - ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用  
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
  - ・教育情報機器等の維持管理  
学校教育に必要なパソコン等情報機器の保守や更新を行う。
  - ・ICT環境整備  
第3次浜松市教育総合計画～教育の情報化編～に基づき、ICT環境の検証や整備方針を検討する。
- 【重点戦略項目No.36】情報教育の充実

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

学校管理運営システム(グループウェア、支出管理、備品管理、図書管理)を活用した事務処理を行い、教職員の利用時の運用支援を行うとともに、浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校及び幼稚園のインターネット環境を常に正常な状態に保った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

学習に有効な情報機器(タブレット、実物投影機)の導入を進めた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

ネットワークや情報システムを良好に維持するため、必要な環境の改善を進める。

## 補助シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
78	$19 \div 146 \times 100 = 13.01\% \approx 13\%$ ※ICT支援員活用校 19校÷分校を除く 全小中学校146校  ⇒現状の実施校 小学校: 14校 中学校: 5校	$103 \div 146 \times 100 = 70.54\% \approx 71\%$ ※ICT支援員活用校 103校÷分校を除く 全小中学校146校  ⇒R1+全小学校 (小学校で新学習指導 要領が全面实施)	$146 \div 146 \times 100 = 100\%$ ※ICT支援員活用校 146校÷分校を除く 全小中学校146校  ⇒R2+全中学校 (中学校で新学習指導 要領が全面实施)	$146 \div 146 \times 100 = 100\%$ ※ICT支援員活用校 146校÷分校を除く 全小中学校146校  ⇒R3から継続
〇〇				

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
36	—	$(43,266+20,999) \text{人} \div (5,294+2,132+600) \text{台} = 8.01 \text{人/台}$ ※H28.5時点の人数(小学生+中学生)÷ (H29.3時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)	$(43,081+20,777) \text{人} \div (5,249+2,216+600) \text{台} = 7.92 \text{人/台}$ ※H29.5時点の人数(小学生+中学生)÷ (H29.9時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)	$(43,068+20,269) \text{人} \div (5,236+3,056+600) \text{台} = 7.12 \text{人/台}$ ※H30.5時点の人数(小学生+中学生)÷H31.3 時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

### ◇政策の概要

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

### ◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	528,400	255,500	248,615	294,729	251,267
決算	526,653	255,072	245,958	289,641	
人件費(A)	5,600	2,800	2,800	2,800	2,800
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	532,253	257,872	248,758	292,441	254,067

### ◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする 物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90	90	90	90	90
			実績	100	100	99	90	
			目標					
			実績					

### ◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の整備に努める。

### ◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	授業用教材教具導入事業					254,067	251,267	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						254,067	251,267	0.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 授業用教材教具導入事業

### ◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立小学校(96校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

### ◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	528,400	255,500	248,615	294,729	251,267
	決算	526,653	255,072	245,958	289,641	
	国・県支出	2,836	2,849	2,896	2,904	2,880
	市債					
	その他					
	一般財源	523,817	252,223	243,062	286,737	248,387
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		5,600	2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行い、学校図書の整備にも努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	100	100	99	90			

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。  
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

理科教育設備整備

教師用教科書、指導書等の購入

学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。

より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給をするため、教材等の採択部門である指導課及び学校とのコミュニティーを強化する。

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の本整備に努める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	154,695	305,700	149,744	157,476	182,305
決算	153,286	304,911	147,883	154,453	
人件費(A)	4,900	2,800	2,800	2,800	2,800
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	158,186	307,711	150,683	157,253	185,105

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする 物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90	90	90	90	90
			実績	100	100	99	90	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の本整備に努める。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	授業用教材教具導入事業					185,105	182,305	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						185,105	182,305	0.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 授業用教材教具導入事業

### ◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立中学校(49校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

### ◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	154,695	305,700	149,744	157,476	182,305
	決算	153,286	304,911	147,883	154,453	
	国・県支出	1,542	1,599	1,436	1,452	1,590
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	151,744	303,312	146,447	153,001	180,715
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		4,900	2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行い、学校図書の整備にも努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	100	100	99	94			

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。  
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

理科教育設備整備

教師用教科書、指導書等の購入

学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。

より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給をするため、教材等の採択部門である指導課及び学校とのコミュニティーを強化する。

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

小学校教諭の英語指導力の向上

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	7,280	1,453	7,659	7,543	
決算	6,684	1,378	6,275	6,456	
人件費(A)	700	700	700	700	
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,384	2,078	6,975	7,156	

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
小学校教諭の海外派遣総数	人		目標	32	48	64	80	
			実績	32	32	48	64	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

小学校教諭の英語指導力の向上

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
小学校教諭の英語指導力の向上を図るため、平成30年度16人を海外研修に派遣し、計画通り実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校教諭英語指導力向上事業		○	○	○							
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業 【完了】

## ◇事業目的・事業対象

英語留学を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、小学校教諭の英語授業指導力の向上を図る。

## ◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.35】

・小学校教諭16人を約4週間、英語留学のため、マレーシア(サンウエイ大学等)へ派遣する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	7,280	1,453	7,659	7,543	
	決算	6,684	1,378	6,275	6,456	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	6,684	1,378	6,275	6,456	
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

## ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

## ・事業とゴールの関連性

小学校教諭の海外研修を通じて、英語指導力を向上させることにより、授業の充実を図り、もって児童の学力向上につなげていく。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
小学校教諭の海外派遣総数(人)					-		35	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	32	48	64	80				
実績値	32	32	48	64				

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.35】

・小学校教諭16人を約4週間、英語留学のため、マレーシア(サンウエイ大学等)へ派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

小学校教諭の英語指導力の向上を図るため、平成30年度16人を海外研修に派遣し、計画通り実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

小学校教諭16人を、平成30年7月27日から8月23日の期間、元英国領であるマレーシア(サンウェイ大学等)へ派遣した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

令和元年度から、事業の目的に沿って本事業を教育センターに移管し、統合・再構築することにより、さらなる教職員に係る研修の充実を図っていく。

**補助シート** (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業 **【完了】**

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
35	海外派遣16人	派遣先の治安悪化により中止	海外派遣16人	海外派遣16人

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつぐり

◇政策の概要

- 英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- 理数教育の充実を図る。
- 道徳教育の充実を図る。
- 文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- 中学生の三遠南信交流を進める。
- 市民協働による学校教育の充実発展を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	223,870	242,937	245,545	263,984	306,847
決算	212,014	224,435	236,211	251,845	
人件費(A)	11,900	11,200	12,600	14,000	18,900
報酬(B)				9,184	32,960
年間経費(予算又は決算+A+B)	223,914	235,635	248,811	275,029	358,707

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
児童生徒1人当たりのALTの活用時間(時間)	時間	中35時間小35時間	目標					
			実績	中学校21校、小学校12校	中学校21校、小学校12校	中学校21校、小学校12校	中学校22校、小学校16校	中学校23校、小学校16校
理科支援員の活用率(%)	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	
はままつマナーの活用率(%)	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

- 英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- 理数教育の充実を図る。
- 道徳教育の充実を図る。
- 文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- 中学生の三遠南信交流を進める。
- 市民協働による学校教育の充実発展を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- 英語指導力の向上と授業の充実を図った。
  - 理数教育の充実を図った。
  - 道徳教育の充実を図った。
  - 文化芸術に親しみ、体験する機会を設けた。
  - 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励した。
  - 中学生の三遠南信交流を行った。
  - 市民協働による学校教育の充実発展を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	道徳教育総合支援事業					3,701	2,301	0.2				
2	生きた英語力育成事業		〇〇			225,165	220,965	0.6				
3	理科・ものづくり教育支援事業 (負担金)	〇				5,200	4,500	0.1				
4	理科支援員配置事業	〇〇〇				35,828	34,428	0.2				
5	音楽等発表会開催事業					10,648	8,548	0.3				
6	部活動等推進事業		〇〇			69,785	31,225	0.8				32,960
7	三遠南信交流推進事業					2,980	880	0.3				
8	やらまいか教育推進事業	〇〇〇				5,400	4,000	0.2				
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						358,707	306,847	2.7				32,960

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 道徳教育総合支援事業

### ◇事業目的・事業対象

子供たちが夢や希望を持って、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く心の教育を進める。

### ◇事業の概要

- ・道徳教育パワーアップ研究協議会を開催する。
- ・「はままつマナー」を啓発する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30		一般会計	自治事務 (その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算				2,563	2,301
	決算				1,458	
	国・県支出				1,394	2,301
	市債					
	その他					
	一般財源				64	
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)					1,400	1,400
人工	正規				0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

「はままつマナー」の活用を通して、単にマナーを知識としてとらえるのではなく、マナーを踏まえた振る舞いが自然にできる子供を育成する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
はままつマナーの活用率(%)					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値				100	100	100	100
実績値				100			

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・学校の教育活動全体で道徳性を育てる。
- ・道徳の時間を充実させる
- ・家庭や地域との連携を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

子供たちが夢や希望を持って、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く心の教育を進めるため、「はままつマナー」及び啓発カレンダーを作成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

「はままつマナー」を活用し、子供たちの規範意識や思いやりの心をはぐくむことができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

「夢と希望を持ち、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く」浜松の人づくりを進める。

## 事業シート (事業名) 生きた英語力育成事業

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 英語の授業を通して、児童生徒の言語や外国の文化に対する理解を深める。英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した授業を実施する。  
 【事業対象】 市立小・中学校、市立高等学校

### ◇事業の概要

【H27-30重点戦略項目No.35】【R1-R4重点戦略項目No.80】  
 英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62		一般会計	自治事務(その他)	語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱	—	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	135,920	152,980	155,479	175,823	220,965
	決算	131,517	140,547	153,666	172,583	
	国・県支出					
	市債					
	その他	2,246	2,303	1,816	2,002	2,180
一般財源		129,271	138,244	151,850	170,581	218,785
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		4,200	2,800	2,800	2,800	4,200
人工	正規	0.6	0.4	0.4	0.4	0.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

外国の言語や文化に対する理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を育成する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
児童1人あたりのALT活用時間数(高学年)(時間)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	12	12	12	16	23	35	35
実績値	12	12	12	16			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
生徒1人あたりのALT活用時間数(時間)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	31	31	31	32	32	35	35
実績値	28	31	31	32			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
英語指導力向上研修を受講した教員が在籍する学校の割合(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	25	50	75	100	100	100	100
実績値	33	50	75	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
ALTの人数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	47	47	47	75	60	62	62
実績値	47	47	47	50			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-30重点戦略項目No.35】

英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

外国人指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)を配置するとともに、ALTによる英語授業を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・外国人指導助手(ALT)について、直接雇用者(非常勤職員)と民間委託のそれぞれの特性を考慮して配置し、児童生徒に英語力の向上を図った。
- ・新学習指導要領の移行に伴い、小学校3、4年生の外国語活動の授業に対応するため、ALTを増員した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ALTの配置について、学校や児童生徒の実情に合わせた直接雇用者と民間委託との適正配置を進める。
- ・ALTの研修の充実を図り、ALTの質的向上を図る。
- ・新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校外国語科、外国語活動の授業の充実を図る。

## 補助シート (事業名) 生きた英語力育成事業

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
80	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手 (ALT) を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手 (ALT) を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手 (ALT) を活用する。	英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手 (ALT) を活用する。

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
35	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。(受講者 100人)

## 事業シート (事業名) 理科・ものづくり教育支援事業(負担金)

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域支援ネットワーク「浜松RAIN房」の活動を支援する。  
 【事業対象】 市内小中学校及び関係市民団体

### ◇事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23		一般会計	自治事務(その他)		○	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	決算	4,500	4,500	4,157	4,500	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	4,500	4,500	4,157	4,500	4,500
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1、4.3	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

大学・企業・行政が連携し、地域に根ざす優れた人材を地域で育てる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
理科・ものづくりプログラムの小中学校への提供回数(回)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	50	50	50	50	50	50	50
実績値	50	50	50	50			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
小中学校の教員を対象とした理科・ものづくり研修の回数(回)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	10	10	10	10	10	10	10
実績値	10	10	10	10			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

静岡大学と連携し、地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援し、理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施することができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

浜松RAIN房の活動状況に応じて、負担金を見直していく。

## 事業シート (事業名) 理科支援員配置事業

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科支援員を浜松市立小学校に配置・活用することにより、理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。  
【事業対象】 市立小学校

### ◇事業の概要

#### 【R1-R4重点戦略項目No.89】

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	35,005	34,483	34,427	34,427	34,428
	決算	34,074	33,462	33,028	33,266	
	国・県支出	10,311	9,947	9,947	6,161	10,981
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	23,763	23,515	23,081	27,105	23,447
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
理科支援員の活用率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	89	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

理科支援員コーディネーターを指導課に配置するとともに、理科支援員を市立小学校全校に配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置し、理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーターを指導課に配置する。

## 補助シート (事業名) 理科支援員配置事業

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
89	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。	理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置する。

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

## 事業シート (事業名) 音楽等発表会開催事業

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒が文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。  
 【事業対象】 市立小・中学校

### ◇事業の概要

・将来にわたって音楽を楽しむ資質を育てる場として、中学生を対象に音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催するとともに、各小中学校の学年団や音楽部が、発表や鑑賞を行う研究発表会を開催する。  
 ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	13,984	16,747	16,714	8,721	8,548
	決算	11,943	14,762	14,221	7,481	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	11,943	14,762	14,221	7,481	8,548
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

「音楽の都」の担い手となる子供の育成

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
音楽発表会の実施率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・中学生を対象に、音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催する。
- ・各小中学校の学年・学年団や音楽部などが活動の成果を披露する。
- ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市立全中学校が3年で一巡できるよう、音響設備が整っている施設での音楽発表会を開催した。
- ・小中学校の学年団、音楽部等の発表や鑑賞を行う研究発表会を開催した。
- ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発や振興のために市展の開催、優秀作品の表彰を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

音楽発表会開催時のバス借上げが観光シーズンと重複するため、事業の一部を学校特色化推進事業に事業再編した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

音響設備が整っている施設での音楽発表会を開催し、「音楽の都」の担い手となる子供の育成する。授業における図画工作科・美術科作品を広く紹介し、造形教育の啓発と振興を図る。

## 事業シート (事業名) 部活動等推進事業

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会・全国大会等へ出場する児童・生徒を対象に激励金を交付するとともに、各種文化・スポーツ大会の効果的な運営を支援する。  
 【事業対象】 市内小中学校

### ◇事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】  
 児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。  
 【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】  
 小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。  
 【部活動指導員配置事業】【R1-R4重点戦略項目No.88】  
 中学校に部活動指導員を配置し、部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33		一般会計	自治事務(その他)	市スポーツ大会・音楽コンクール等出場激励金交付要綱、交付金要綱	—	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	33,712	32,015	31,496	33,244	31,225
	決算	29,391	29,115	28,610	27,945	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	29,391	29,115	28,610	27,945	31,225
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					9,184	32,960
人件費 (千円)		2,100	2,800	2,800	2,800	5,600
人工	正規	0.3	0.4	0.4	0.4	0.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

運動・スポーツを通して、児童生徒の心身の健全な発達を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
小・中体連及び小・中文連の対象事業参加率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
部活動指導員の配置人数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値				35	40	46	69	
実績値				21				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】

東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付する。

顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。

【部活動指導員配置事業】

部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図るため、部活動指導員を配置する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【文化・スポーツ活動奨励事業】

児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒に表彰状を授与した。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援した。

【部活動指導員配置事業】

中学校に部活動指導員を21人配置し、部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

小中学校の児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励することで、技術の向上を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

東海大会以上の文化・スポーツ大会へ出場する児童生徒を奨励する。  
大会実施経費の負担軽減のため、事業支援をする。

## 補助シート (事業名) 部活動等推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
88	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。	市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置し、部活動指導の充実と教員の多忙化解消を図る。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

## 事業シート (事業名) 三遠南信交流推進事業

### ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 三遠南信地域の飯田市、豊橋市、浜松市の中学生の交流や飯田市及び豊橋市の教員の受入交流によって、視野や見識を広める。  
 【事業対象】 市内中学校

### ◇事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進し、「まちづくり」や「生徒会活動」などについて語り合うことを通して、自分たちの住んでいる地域や自分たちの学校を見つめ直し、未来への展望が持てるような人づくりを目指す。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5			自治事務(その他)	三遠南信(飯田・豊橋・浜松)中学生交流会実施要項	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	749	2,212	929	706	880
	決算	589	2,049	763	612	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	589	2,049	763	612	880
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	1,400	2,100
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

3市の中学生が友好を深め、交流の架け橋となり、未来への展望・人づくりを目指す。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
市内中学校の交流参加率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進するため、夏休みを利用して中学生及び教員の交流活動を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

飯田市・豊橋市・浜松市の中学生及び教員の交流等を実施した。  
 ・3市の中学生代表が、夏休みに1泊2日で豊橋市で交流を行った。  
 ・飯田市及び豊橋市の教員と研修を通じて交流を深めた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ 交流活動を通して飯田市と豊橋市の中学生や教員との交流が深められた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ 令和元年度は浜松市で開催する。

## 事業シート (事業名) やらまいか教育推進事業

### ◇事業目的・事業対象

市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、子供たちがより一層「浜松の良さ・強み」を感得し、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.75】

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援していく。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務 (その他)	やらまいか教育推進事業実施要項	○	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			2,000	4,000	4,000
	決算			1,766	4,000	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源			1,766	4,000	4,000
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)				1,400	1,400	1,400
人工	正規			0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、浜松を支え、活躍する人材を育成する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
やらまいか教育推進事業実施を実施する学校数(累計)(校)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	75	
目標値			10	30	50	110	146	
実績値			10	30				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を実施する小中学校への支援校数を拡大した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・実施校の拡大を図るとともに、活動を周知していく。
- ・実施校での事業効果を検証していく。

## 補助シート (事業名) やらまいか教育推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
75	市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感じ、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。	市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感じ、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。	市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感じ、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。	市民協働による学校教育の充実発展を図るとともに、起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援し、子供たちが「浜松の良さ・強み」を感じ、将来、自分らしさを発揮しながら、本市を支え、活躍する人材を育成する。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 小学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	741,681	698,938	728,324	776,635	816,596
決算	730,071	687,437	718,596	770,415	
人件費(A)	15,400	15,400	15,400	14,000	15,400
報酬(B)	98,589	98,070	96,163	96,688	96,686
年間経費(予算又は決算+A+B)	844,060	800,907	830,159	881,103	928,682

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
肥満傾向・栄養不良率	%	3	目標	3.9	3.7	3.6	3.4	3.3
			実績	3.95	2.86	2.5	3.2	
給食満足度率(自校方式、小学校)	%	95	目標	93	93	93	93	93
			実績	93.2	91.9	92	93	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に基づき、尿検査・寄生虫卵検査・運動器検診・心臓疾患検査を全小学校で実施した。</li> <li>学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。</li> <li>平成30年度は新規に小学校1校の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式(きずな方式を含む)の小学校70校中44校を民間委託化した。</li> <li>児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。</li> </ul>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	児童健康診断事業					130,657	31,171	0.4			96,686
2	小学校給食事業			○		798,025	785,425	1.2			1.5
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						928,682	816,596	1.6			1.5 96,686

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 児童健康診断事業

### ◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、小学校児童に対し健康診断を行い、児童の健康の保持増進を図る。

### ◇事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	34,651	34,346	31,654	31,644	31,171
	決算	34,140	34,056	31,409	31,221	
	国・県支出		23	24	18	18
	市債					
	その他					
	一般財源	34,140	34,033	31,385	31,203	31,153
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		98,589	98,070	96,163	96,688	96,686
人件費 (千円)		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.4	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

定期健康診断を実施し、学校生活に支障がないよう、疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するとともに早期発見に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
肥満傾向・栄養不良率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	3.9	3.7	3.6	3.4	3.3	3.1	3
実績値	3.95	2.86	2.5	3.2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・寄生虫卵検査(1~3学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、肥満傾向や栄養不良の児童については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

児童の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、児童の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

## 事業シート (事業名) 小学校給食事業

### ◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、児童の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して、正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

### ◇事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材使用に努める。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	707,030	664,592	696,670	744,991	785,425
	決算	695,931	653,381	687,187	739,194	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	695,931	653,381	687,187	739,194	785,425
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		12,600	12,600	12,600	11,200	12,600
人工	正規	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣の確立のため、給食を活かした食に関する指導に取り組む。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
給食満足度率(自校方式、小学校)(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	93	93	93	93	93	94	95	
実績値	93.2	91.9	92	92.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、小学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・給食満足度では、自校方式の小中学校で実施。目標値93%に対し、実績値が92.7%で目標に達しなかった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。
- ・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得。研修会を開催するなど、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・1小学校の調理業務の民間委託化を行った。これにより、自校方式(きずな方式を含む)小中学校70校中44校で委託化された。
- ・浜松市産特別栽培米「やら米か」は8年目、浜松市産茶葉を使用した紙パック茶は7年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。
- ・児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

平成30年度は、1小学校の調理業務民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

・行政経営計画に基づいて民間委託を実施を予定している。

・今後の学校給食のあり方について検討していく。

・給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)9人。令和元年度末の小学校(自公方式)給食調理業務民間委託は、43調理場とする。(令和元年度は1校を民間委託化)

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 中学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	317,821	328,551	316,066	349,922	393,446
決算	310,493	319,338	311,127	343,407	
人件費(A)	15,400	15,400	15,400	14,000	15,400
報酬(B)	48,716	48,570	48,401	48,709	48,862
年間経費(予算又は決算+A+B)	374,609	383,308	374,928	406,116	457,708

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
肥満傾向・栄養不良率	%	3	目標	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1
			実績	3.1	3.5	2.7	3.1	
給食満足度率(自校方式、中学校)	%	90	目標	85	85	89	89	90
			実績	83.7	88.4	88.3	90.4	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞	達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に基づき、尿検査・運動器検診・心臓疾患検査を全中学校で実施した。</li> <li>学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。</li> <li>平成30年度は新規に中学校1校の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式(きずな方式を含む)の中学校36校中21校を民間委託化した。</li> <li>生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。</li> </ul>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	生徒健康診断事業					70,031	18,369	0.4			48,862
2	中学校給食事業			○		387,677	375,077	1.2			1.5
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						457,708	393,446	1.6			1.5 48,862

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 生徒健康診断事業

### ◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、中学生徒に対し健康診断を行い、生徒の健康の保持増進を図る。

### ◇事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生)

その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	18,424	18,227	17,863	17,562	18,369
	決算	17,735	17,518	17,315	16,891	
	国・県支出		28	21	17	20
	市債					
	その他					
	一般財源	17,735	17,490	17,294	16,874	18,349
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		48,716	48,570	48,401	48,709	48,862
人件費 (千円)		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.4	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

定期健康診断を実施し、学校生活に支障がないよう、疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するとともに早期発見に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
肥満傾向・栄養不良率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3	2.8	
実績値	3.1	3.5	2.7	3.1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生)

その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、肥満傾向や栄養不良の生徒については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

生徒の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、生徒の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

## 事業シート (事業名) 中学校給食事業

### ◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

### ◇事業の概要

・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。  
 ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。  
 ・地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材使用に努める。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。  
 ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	299,397	310,324	298,203	332,360	375,077
	決算	292,758	301,820	293,812	326,516	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	292,758	301,820	293,812	326,516	375,077
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		12,600	12,600	12,600	11,200	12,600
人工	正規	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣の確立のため、給食を活かした食に関する指導に取り組む。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
給食満足度率(自校方式、中学校)(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	85	85	89	89	90	90	90	
実績値	83.7	88.4	88.3	90.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、中学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

- ・給食満足度では、自校方式の中学校で実施。目標値89%に対し、実績値が90.4%で目標に達した。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。
- ・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得。研修会を開催するなど、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・1中学校の調理業務の民間委託化を行った。これにより、自校方式(きずな方式を含む)中学校36校中21校で委託化された。
- ・浜松市産特別栽培米「やら米か」は8年目、浜松市産茶葉を使用した紙パック茶は7年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。
- ・児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成30年度は、2中学校の調理業務の民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・今後も行政経営計画に基づいて民間委託を実施する。
- ・給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)9人。令和元年度末の中学校(自校方式)給食調理業務民間委託 21調理場とする。(令和元年度は2校を民間委託化)

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,222,307	1,243,421	1,302,254	1,354,353	1,389,285
決算	1,204,887	1,220,995	1,280,635	1,331,617	
人件費(A)	54,600	54,600	54,600	50,400	50,400
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,259,487	1,275,595	1,335,235	1,382,017	1,439,685

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
給食満足度率(センター方式)	%	90	目標	85	85	88	89	89
			実績	84.3	88	89.9	83.7	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 達成

- 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 児童生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校給食センター事業					1,439,685	1,389,285	6.0			3.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,439,685	1,389,285	6.0			3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 学校給食センター事業

### ◇事業目的・事業対象

共同調理場において安全・安心でおいしい給食を提供していくことで、児童・生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

### ◇事業の概要

・学校給食食材購入事業  
安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。また、地産地消の推進に向け、浜松産主要10品目の食材調達に努める。

・学校給食センター管理運営事業  
給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,222,307	1,243,421	1,302,254	1,354,353	1,389,285
	決算	1,204,887	1,220,995	1,280,635	1,331,617	
	国・県支出					
	市債					
	その他	728,779	735,073	788,243	790,120	814,781
	一般財源	476,108	485,922	492,392	541,497	574,504
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		54,600	54,600	54,600	50,400	50,400
人工	正規	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

安全安心な給食の提供に努め、健全な食習慣を確立する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
給食満足度率(センター方式)(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	85	85	88	89	89	90	90	
実績値	84.3	88	89.9	83.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

学校給食食材購入事業

- ・安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。

学校給食センター管理運営事業

- ・給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・センター方式による学校給食を運営することで、学校給食を効率的に実施。給食満足度では、センター方式の小中学校で実施し、小中学校の平均で目標値89%に対し、実績値が83.7%で目標以下の結果となった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。

- ・地産地消の推進の取り組みとして、引佐学校給食センターにおいて、浜松産食材100%の給食を提供した。
- ・H28年度、全ての給食センターにおいて浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得し、研修会の開催など、更なる衛生管理の徹底に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

全ての学校給食センターで民間委託化になっている。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

給食を円滑に実施するための維持管理と給食センターの良好な環境を維持する。

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	111,853	108,911	116,460	117,079	118,507
決算	105,656	103,984	110,731	109,999	
人件費(A)	72,800	72,800	72,800	72,800	76,400
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	178,456	176,784	183,531	182,799	194,907

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
防災ノート活用率	%	100	目標	作成(～H29)	作成(～H29)	作成(～H29)	95	100
			実績	作成	作成	作成	100	
教職員の普通救命講習修了証の取得率	%	100	目標	65	73	80	85	85
			実績	69	75	83.5	83.2	
給食満足度率(総括)	%	90	目標	88	88	89	89	89
			実績	87.4	89.9	90.3	90	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健については、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、就学時健康診断、学校環境衛生検査、学校保健指導を行った。</li> <li>学校安全については、児童生徒の安全を確保するため、通学路整備事業の充実、学校防災サポート事業等を実施した。</li> <li>学校給食については、栄養教諭・学校栄養職員・調理主任等の衛生管理、安全管理、アレルギー対応及び調理実技について研修会を実施した。また、児童生徒の静岡茶の愛飲を促進するため、粉末茶を提供した。</li> </ul>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校保健衛生事業					49,171	33,071	2.3			
2	学校安全事業		〇〇			25,055	10,355	1.7			1.0
3	日本スポーツ振興センター災害共済事業					63,726	60,926				1.0
4	健康安全運営経費		〇〇			56,955	14,155	5.6	1.0		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						194,907	118,507	9.6	1.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 学校保健衛生事業

### ◇事業目的・事業対象

小中学校の保健衛生環境を維持し、児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとする。  
学校保健会の活動を支援することで、学校における健康教育並びに健康管理の充実を図る。

### ◇事業の概要

- ・就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。
- ・がん教育推進事業⇒第2次浜松市がん対策推進計画に基づき、効果的かつ円滑ながん教育の実施方法の検討及び外部講師の活用体制を整備する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	34,113	32,692	32,085	34,726	33,071
	決算	31,042	29,090	29,328	29,535	
	国・県支出					719
	市債					
	その他		69	69	66	67
	一般財源	31,042	29,021	29,259	29,469	32,285
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		16,100	16,100	16,100	16,100	16,100
人工	正規	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとするため、学校の保健衛生環境を維持する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
就学時健康診断受診率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
教職員を対象とした学校保健に関する研修会の実施率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・学校環境衛生検査、保健指導、学校における結核対策、学校保健会事業、就学時健康診断を実施した。
- ・学校保健に関する指導をとおして、健康意識の啓発を図った。
- ・結核は、児童生徒や学校にとって、健康上及び教育上重要な課題であることから、対策・指導を行った。
- ・健康診断の的確な実施と事後措置の研究、学校保健委員会活動の推進等を行った。
- ・第69回指定都市学校保健協議会を本市で開催し、児童生徒の健康、安全の諸課題を研究協議し、学校保健の進展を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校保健会による学校保健活動推進事業について、子供たちの健康を守るための事業を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

就学时健康診断や結核検診、飲料水やプール水の検査を定期的を実施することにより、学校生活における児童生徒の安全管理が維持されており、法的にも実施しなければならないものであるため、今後も専門機関に委託しながら実施していく。

## 事業シート (事業名) 学校安全事業

### ◇事業目的・事業対象

学校安全(災害安全・生活安全・交通安全)について、学校と教育委員会との連携を更に進めるため、危機管理を総括する機能の充実を図る。特に学校防災については、地域との連携を深め、子どもの命を守る安全対策の確立を図る。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.86、160】

学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。

#### (1) 災害安全事業

・学校における防災教育・防災管理の充実を図るため、浜松市版防災ノートを活用した防災教育や学校防災リーダー育成研修、学校防災サポート事業を推進する。

#### (2) 生活安全事業

・地域との連携を図り、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

#### (3) 交通安全事業

・通学路の安全対策の整備を進めるとともに、交通安全教育推進モデル小学校事業、交通安全リーダーと語る会等の交通安全教育の充実を図る。

・警察、交通安全協会との連携を深め、子供の交通安全意識の高揚を図り、保護者への啓発も充実する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	学校保健安全法、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施要項	—	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	7,512	7,110	12,626	9,869	10,355
	決算	6,294	6,834	10,529	8,550	
	国・県支出	1,953	1,774	1,949	2,081	2,229
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	4,341	5,060	8,580	6,469	8,126
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		14,700	14,700	14,700	14,700	14,700
人工	正規	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.6	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

安全で快適な学校生活が送れるよう、教育環境の整備に努める。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
防災ノート活用率 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	作成(～H29)	作成(～H29)	作成(～H29)	95	100	100	100	
実績値	作成	作成	作成	100				
教職員の普通救命講習修了証の取得率 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	65	73	80	85	85	96	100	
実績値	69	75	83.6	83.2				
見守りボランティアへの登録者数 (人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	-	-	350	500	600	
実績値	-	-	-	-				
見守りボランティアへの登録者数 (人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
見守りボランティアへの登録者数 (人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。

- (1) 災害安全事業
  - ・子供たちの自助力、共助力の育成を図るため、学校防災プロジェクト事業を推進する。
- (2) 生活安全事業
  - ・地域との連携を図り、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。
- (3) 交通安全事業
  - ・通学路の安全対策の整備を進めるとともに、交通安全教育推進モデル小学校事業、交通安全リーダーと語る会等の交通安全教育の充実を図る。
  - ・警察、交通安全協会との連携を深め、子どもの交通安全意識の高揚を図り、保護者への啓発も充実する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- (1) 災害安全事業
  - ・防災教育、防災管理の充実を図るため、学校防災リーダー育成研修や防災有識者を派遣する学校防災サポート事業等を行った。また、各学校での浜松市版防災ノートの活用状況を集約し、活用参考事例としてまとめた。
  - ・南海トラフ地震、大規模停電等の災害や水防法及び土砂災害防止法の一部改正に伴う避難確保計画作成の義務化に対応するため、危機管理マニュアル(災害安全編)・学校危機管理マニュアル(災害安全編)の改訂を行った。
- (2) 生活安全事業
  - ・スクールガードリーダー19人を96小学校に配置し、校区内を定期的に巡回したことにより子供の安全を図ることができた。
- (3) 交通安全事業
  - ・交通安全教育推進モデル小学校の活動及び交通安全リーダーと語る会を実施したことにより、交通事故防止と交通安全活動の推進を図ることができた。
  - ・通学路整備要望は、各学校から110件あり、警察等の関係機関と連携しながら、対策を講じた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

各事業を計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・浜松市版防災ノートを活用した防災教育を実施していく。
- ・学校防災における課題をもつ学校に対し、防災有識者等を派遣することをおして、子供の命を守るための具体策を検討し、学校の防災教育の充実と防災管理の強化を図っていく。
- ・子供の登下校時における安全確保及び犯罪抑止効果の充実を図っていく。

## 補助シート (事業名) 学校安全事業

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
86	地域の高齢者や事業者の協力を仰ぎ、子供の登下校時に見守りを実施。子供の安全確保や犯罪抑止効果を充実させる。	地域の高齢者や事業者の協力を仰ぎ、子供の登下校時に見守りを実施。子供の安全確保や犯罪抑止効果を充実させる。	地域の高齢者や事業者の協力を仰ぎ、子供の登下校時に見守りを実施。子供の安全確保や犯罪抑止効果を充実させる。	地域の高齢者や事業者の協力を仰ぎ、子供の登下校時に見守りを実施。子供の安全確保や犯罪抑止効果を充実させる。
160	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。	防災ノートの活用をとおして、学校における防災教育の充実を図り、家庭や地域と連携しながら、子供たち一人一人に確かな防災力・減災力を育む。

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 日本スポーツ振興センター災害共済事業

### ◇事業目的・事業対象

独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結することにより、市立小・中学校、高等学校の管理下における児童、生徒の災害(負傷、疾病、障害、又は死亡)について必要な給付を行い、学校教育の円滑な実施を図る。

### ◇事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

#### 【共済掛金】

- ・(令和元年度)義務教育諸学校=935円、市立高校=2,165円
- ※内、市負担分:義務教育諸学校=475円、市立高校=405円  
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

#### 【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S35	-	一般会計	自治事務(その他)	独立行政法人日本スポーツ振興センター法	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	62,839	62,399	61,901	61,489	60,926
	決算	62,720	62,180	61,901	61,484	
	国・県支出					
	市債					
	その他	29,809	29,430	29,199	28,884	28,683
一般財源		32,911	32,750	32,702	32,600	32,243
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

学校管理下での災害に対し、災害共済給付することにより、学校教育の円滑な実施に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
加入率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・〈平成30年度現行〉義務教育諸学校=945円、市立高校=1,865円
- ※内、市負担分:義務教育諸学校=485円、市立高校=355円  
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・加入率(100%)=平成30年度年間加入者数(64,835人)

【平成30年度医療費(負傷・疾病)給付状況 見込み】

- 小学校(4,500件 28,000,000円)
- 中学校(5,000件 38,000,000円)
- 高等学校(250件 3,000,000円)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、加入・支給事務を行い、児童生徒や保護者、学校の救済に寄与した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校運営を円滑に進めるため、学校管理下における児童生徒の災害に際し、迅速かつ適切に対応行うことが必要であり、センターの共済制度は有効であることから、今後も継続していく。

## 事業シート (事業名) 健康安全運営経費

### ◇事業目的・事業対象

健康安全課業務の運営を円滑に進めるとともに、学校給食従事者に対し研修会等を行うことにより、充実した学校給食の運営と学校給食従事者の資質向上(調理技術・衛生管理)を図る。

### ◇事業の概要

【R1-R4 重点戦略項目No.90】

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食費の公会計化に向けての検討・調整
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 健康安全課業務を円滑に実施するための諸経費

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	7,389	6,710	9,848	10,995	14,155
	決算	5,600	5,880	8,973	10,430	
	国・県支出			3,157	4,235	7,300
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	5,600	5,880	5,816	6,195	6,855
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		39,200	39,200	39,200	39,200	42,800
人工	正規	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
	再任用(h31)					1.0
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全で快適な学校生活を送れるよう、教育環境の整備に努める。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
給食満足度率(総括)(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	88	88	89	89	89	90	90	
実績値	87.4	89.9	90.3	90				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
公会計化導入に向けた進捗状況								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	-	-	課題整理・制度設計			90
実績値	-	-	-	-				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 健康安全課業務を円滑に実施するための諸経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・小中学校に配備のAEDについて良好な管理を行うことができた。また、教職員を対象に、救急蘇生講座を実施し、学校の安全性をより一層高めることができた。
- ・学校給食指導事業については、衛生管理の徹底、安全安心でおいしい給食を提供できるよう、学校給食従事者を対象に研修会を開催した。
- ・児童生徒が、浜松茶を飲む機会及び児童生徒に対する浜松茶の食育の機会を確保するため、浜松産茶葉を使用した粉末茶を提供した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

保健給食課業務の運営を円滑に進めることができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

安全安心な教育環境づくりの推進のために必要な事務事業を実施していく上で必要な諸経費であり、現状のまま継続していく。今後、学校給食費の公会計化に向けて取り組んでいく。

## 補助シート (事業名) 健康安全運営経費

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題(学校給食のあり方)整理・検討</li> <li>・制度設計</li> <li>・関係部局との調整</li> <li>・システム検討・調整</li> </ul> ※令和元年度に導入スケジュールを決定する。			
〇〇				

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

# 政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成  
(予算費目名) 学童等災害共済事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

### ◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

### ◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	6,200	6,100	6,000	6,000	6,000
決算	5,577	4,514	5,041	5,804	
人件費(A)	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200
報酬(B)	212	212	124	212	
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,989	8,926	9,365	10,216	10,200

### ◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
加入率	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	
			目標					
			実績					

### ◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

### ◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学童等災害共済事業					10,200	6,000	0.2			1.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						10,200	6,000	0.2			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 学童等災害共済事業

### ◇事業目的・事業対象

学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与する。

### ◇事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。  
 なお、共済会費として1人80円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市学童等災害共済条例	—		

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	6,200	6,100	6,000	6,000	6,000
	決算	5,577	4,514	5,041	5,804	
	国・県支出					
	市債					
	その他	40	10			
	一般財源	2,298	1,285	1,835	2,609	3,107
一般会計繰入金		3,239	3,219	3,206	3,195	2,893
人件費(報酬等) (千円)		212	212	124	212	
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200	4,200	4,200
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

学校管理下での災害に対し、災害共済給付することにより、学校教育の円滑な実施に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
加入率(%)					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100			

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

  

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。  
 なお、共済会費として1人90円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・加入率(100%)=平成30年度年間加入者数(66,008人)

【平成30年度傷害見舞金、障害見舞金支給状況 見込み】

小・中学校(691件 5,341,000円)

・治療の経過観察などにより、災害発生から給付金請求までに期間が開いてしまう場合がある。請求もれがないよう学校等との連携を密にしていこう。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。
- ・共済会費収入と見舞金給付支出の均衡を適正に保つため、共済会費の見直しを図った。
- ・共済見舞金の支給拡大を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・学校や保護者のニーズにあった共済事業を実施していく。
- ・収入・支出バランスを注視し、必要に応じて制度改正を行っていく。